

野村米国国債部分ラダーファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け)

運用報告書(全体版)

第4期(決算日2018年12月6日)

作成対象期間(2017年12月7日～2018年12月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年4月1日以降、無期限とします。	
運用方針	米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド(為替ヘッジなし)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、米国の国債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目標に運用を行うことを基本とします。投資する米国国債は原則として残存期間が7年～10年程度の米国国債とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主な投資対象	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。 米国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

〈Aコース〉

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
(設定日)	円		円			%		%	百万円
2015年4月1日	10,000		—		—	—		—	1
1期(2015年12月7日)	9,924		0		△0.8	99.3		—	8,171
2期(2016年12月6日)	9,849		0		△0.8	101.6		—	24,707
3期(2017年12月6日)	9,886		0		0.4	99.6		—	22,256
4期(2018年12月6日)	9,490		0		△4.0	98.6		—	13,467

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首)	円		%		%		%
2017年12月6日	9,886		—		99.6		—
12月末	9,819		△0.7		98.1		—
2018年1月末	9,611		△2.8		97.0		—
2月末	9,483		△4.1		98.8		—
3月末	9,593		△3.0		100.2		—
4月末	9,420		△4.7		100.1		—
5月末	9,519		△3.7		98.1		—
6月末	9,520		△3.7		99.4		—
7月末	9,433		△4.6		97.7		—
8月末	9,513		△3.8		98.6		—
9月末	9,383		△5.1		99.8		—
10月末	9,352		△5.4		99.0		—
11月末	9,409		△4.8		99.3		—
(期末)							
2018年12月6日	9,490		△4.0		98.6		—

*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

＜Bコース＞

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金	込配	み騰			
(設定日)	円		円		%	%	百万円
2015年4月1日	10,000		—		—	—	1
1期(2015年12月7日)	10,204		5		2.1	98.7	12,050
2期(2016年12月6日)	9,488		0		△7.0	98.8	18,820
3期(2017年12月6日)	9,604		0		1.2	98.7	15,445
4期(2018年12月6日)	9,494		0		△1.1	98.9	16,512

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首)	円			%	%	%
2017年12月6日	9,604			—	98.7	—
12月末	9,608			0.0	98.4	—
2018年1月末	9,076			△5.5	97.2	—
2月末	8,849			△7.9	98.8	—
3月末	8,883			△7.5	98.9	—
4月末	8,992			△6.4	98.7	—
5月末	9,052			△5.7	99.1	—
6月末	9,221			△4.0	98.5	—
7月末	9,196			△4.2	97.9	—
8月末	9,298			△3.2	98.8	—
9月末	9,389			△2.2	98.9	—
10月末	9,367			△2.5	98.0	—
11月末	9,454			△1.6	99.1	—
(期末)						
2018年12月6日	9,494			△1.1	98.9	—

* 騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,886円

期 末：9,490円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 4.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年12月6日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇) ・米国国債を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(下落) ・保有している米国国債の利回りが上昇(価格は下落)したことによるキャピタルロス(値下がり損)。

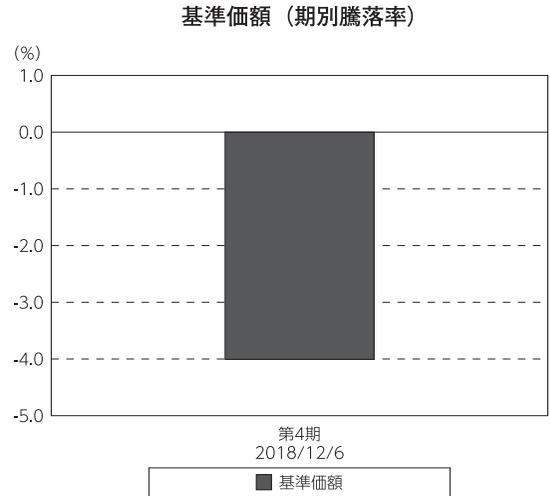
・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト(金利差相当分の費用)。

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、主として残存7年～10年程度の米国国債に投資し、残存構成が概ねラダー型になるよう運用し、ベビーファンドで実質組入外貨建資産の為替ヘッジを行っておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2017年12月7日～ 2018年12月6日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	915

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,604円

期 末：9,494円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年12月6日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

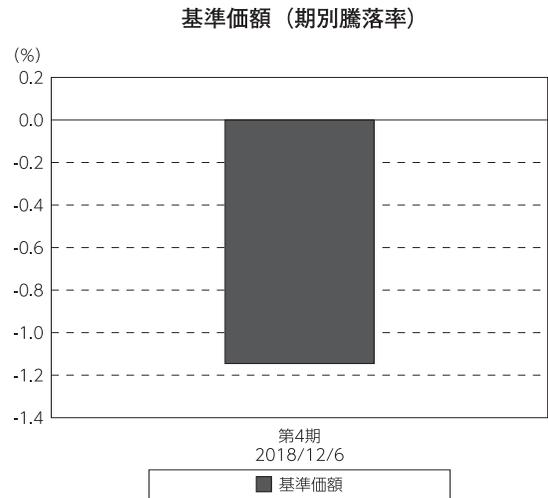
- (上昇) ・米国国債を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。
- (下落) ・保有している米国国債の利回りが上昇(価格は下落)したことによるキャピタルロス(値下がり損)。

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、主として残存7年～10年程度の米国国債に投資し、残存構成が概ねラダー型になるよう運用しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2017年12月7日～ 2018年12月6日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	899

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース／Bコース>

○投資環境

米国では労働市場が継続的に改善するなど力強い景気回復が継続するなかで、FRB（米連邦準備制度理事会）は引き続き政策金利の引き上げを行ないました。良好な経済とインフレ率の緩やかな上昇により、米国債の利回りは上昇しました。当作成期末にかけては米国の景気見通しの悪化から、米国債利回りが低下（価格は上昇）したことにより、当作成期を通じた利回りの上昇幅は縮小しました。

為替市場では、米欧株式市場の急落、米中貿易摩擦をめぐる不透明感などを背景とした市場のリスク回避的な姿勢が高まったことなどから、米ドルは円に対して下落（円高）した場面もあったものの、米国の力強い景気拡大が意識され日米金利差が拡大するなかで、米ドルは円に対して上昇（円安）し、当作成期を通じて見ると、米ドルは円に対して概ね横ばいとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）]

主要投資対象である米国国債を高位に組み入れ、残存7年から10年程度のラダー型ポートフォリオを維持しました。

[野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である [米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）] 受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である [米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）] 受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）]

主要投資対象の米国国債の組み入れを高位に保ち、ラダー型ポートフォリオを維持します。

[野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である [米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）] の受益証券の組み入れを高位に維持します。実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。

[野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である [米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）] の受益証券の組み入れを高位に維持します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<Aコース>

○1万口当たりの費用明細

(2017年12月7日～2018年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 39	% 0.410	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(31)	(0.324)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.054)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	40	0.422	
期中の平均基準価額は、9,504円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年12月7日～2018年12月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国公債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）	千口 3,218,691	千円 3,868,243	千口 10,219,196	千円 12,494,577

* 単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○利害関係人との取引状況等

(2017年12月7日～2018年12月6日)

利害関係人との取引状況

<野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 216,566	百万円 685	0.3	百万円 207,148	百万円 -	-

<米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 19,653	百万円 -	-	百万円 82,622	百万円 4,454	5.4

平均保有割合 6.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2017年12月7日～2018年12月6日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 0	百万円 -	百万円 -	百万円 0	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年12月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）	千口 17,623,823	千口 10,623,318	千円 13,404,502

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2018年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし)	13,404,502	99.3
コール・ローン等、その他	95,773	0.7
投資信託財産総額	13,500,275	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし) において、当期末における外貨建て純資産 (270,062,853千円) の投資信託財産総額 (292,896,240千円) に対する比率は92.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.94円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	26,610,556,541
コール・ローン等	29,068,694
米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし) (評価額)	13,404,502,879
未収入金	13,176,984,968
(B) 負債	13,142,905,703
未払金	13,110,281,200
未払解約金	382,766
未払信託報酬	32,072,936
未払利息	58
その他未払費用	168,743
(C) 純資産総額 (A - B)	13,467,650,838
元本	14,192,015,723
次期繰越損益金	△ 724,364,885
(D) 受益権総口数	14,192,015,723口
1万口当たり基準価額 (C / D)	9,490円

(注) 期首元本額は22,514,170,648円、期中追加設定元本額は4,184,569,692円、期中一部解約元本額は12,506,724,617円、1口当たり純資産額は0.9490円です。

○損益の状況 (2017年12月7日~2018年12月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 22,809
支払利息	△ 22,809
(B) 有価証券売買損益	△ 370,782,709
売買益	1,929,009,673
売買損	△2,299,792,382
(C) 信託報酬等	△ 72,144,457
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 442,949,975
(E) 前期繰越損益金	△ 261,099,799
(F) 追加信託差損益金	△ 20,315,111
(配当等相当額)	(398,921,757)
(売買損益相当額)	(△ 419,236,868)
(G) 計 (D + E + F)	△ 724,364,885
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G + H)	△ 724,364,885
追加信託差損益金	△ 20,315,111
(配当等相当額)	(406,907,169)
(売買損益相当額)	(△ 427,222,280)
分配準備積立金	892,133,363
繰越損益金	△1,596,183,137

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程（2017年12月7日～2018年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年12月7日～ 2018年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	391,471,019円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	406,907,169円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	500,662,344円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,299,040,532円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	915円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

＜Bコース＞

○1万口当たりの費用明細

(2017年12月7日～2018年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 38	% 0.410	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(30)	(0.324)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.054)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	39	0.422	
期中の平均基準価額は、9,198円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年12月7日～2018年12月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国公債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）	千口 5,592,710	千円 6,951,027	千口 4,643,601	千円 5,713,410

* 単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○利害関係人との取引状況等

(2017年12月7日～2018年12月6日)

利害関係人との取引状況

<野村米回国債部分ラダーファンド Bコース (野村SMA・EW向け)>

該当事項はございません。

<米回国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし)>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D		D C
		百万円	%			百万円	%	
為替直物取引	百万円 19,653	百万円 —	% —		百万円 82,622	百万円 4,454	% 5.4	

平均保有割合 4.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2017年12月7日～2018年12月6日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 0	百万円 —	百万円 —	百万円 0	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年12月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米回国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし)	千口 12,110,966	千口 13,060,076	千円 16,479,204

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2018年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし)	16,479,204	99.6
コール・ローン等、その他	61,001	0.4
投資信託財産総額	16,540,205	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし) において、当期末における外貨建て純資産 (270,062,853千円) の投資信託財産総額 (292,896,240千円) に対する比率は92.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.94円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,540,205,076
コール・ローン等	47,630,982
米国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし) (評価額)	16,479,204,094
未収入金	13,370,000
(B) 負債	28,104,687
未払解約金	802,311
未払信託報酬	27,159,400
未払利息	96
その他未払費用	142,880
(C) 純資産総額 (A - B)	16,512,100,389
元本	17,392,428,271
次期繰越損益金	△ 880,327,882
(D) 受益権総口数	17,392,428,271口
1万口当たり基準価額 (C / D)	9,494円

(注) 期首元本額は16,082,932,573円、期中追加設定元本額は8,342,323,700円、期中一部解約元本額は7,032,828,002円、1口当たり純資産額は0.9494円です。

○損益の状況 (2017年12月7日~2018年12月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,652
支払利息	△ 18,652
(B) 有価証券売買損益	46,518,986
売買益	211,624,108
売買損	△ 165,105,122
(C) 信託報酬等	△ 53,691,132
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 7,190,798
(E) 前期繰越損益金	△ 129,917,581
(F) 追加信託差損益金	△ 743,219,503
(配当等相当額)	(691,573,907)
(売買損益相当額)	(△1,434,793,410)
(G) 計 (D + E + F)	△ 880,327,882
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G + H)	△ 880,327,882
追加信託差損益金	△ 743,219,503
(配当等相当額)	(713,287,648)
(売買損益相当額)	(△1,456,507,151)
分配準備積立金	850,338,974
繰越損益金	△ 987,447,353

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程（2017年12月7日～2018年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年12月7日～ 2018年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	384,433,306円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	713,287,648円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	465,905,668円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,563,626,622円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	899円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年12月6日現在）

＜米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）＞

下記は、米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド（為替ヘッジなし）全体(214, 264, 229千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	2, 254, 600	2, 372, 622	267, 963, 962	99. 1	—	99. 1	—	—
合 計	2, 254, 600	2, 372, 622	267, 963, 962	99. 1	—	99. 1	—	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	国債証券		%	千米ドル	千米ドル	千円	
		US TREASURY BOND	6. 0	162, 100	195, 343	22, 062, 056	2026/ 2 /15
		US TREASURY BOND	6. 75	154, 600	196, 172	22, 155, 768	2026/ 8 /15
		US TREASURY BOND	6. 625	153, 900	196, 030	22, 139, 642	2027/ 2 /15
		US TREASURY BOND	6. 375	77, 700	98, 411	11, 114, 640	2027/ 8 /15
		US TREASURY BOND	5. 5	161, 400	196, 302	22, 170, 432	2028/ 8 /15
		US TREASURY N/B	1. 625	216, 300	198, 489	22, 417, 354	2026/ 5 /15
		US TREASURY N/B	2. 0	212, 200	199, 036	22, 479, 236	2026/11/15
		US TREASURY N/B	2. 375	206, 800	198, 964	22, 471, 019	2027/ 5 /15
		US TREASURY N/B	2. 25	104, 800	99, 600	11, 248, 929	2027/ 8 /15
		US TREASURY N/B	2. 25	209, 700	198, 936	22, 467, 888	2027/11/15
		US TREASURY N/B	2. 75	200, 400	197, 801	22, 339, 653	2028/ 2 /15
		US TREASURY N/B	2. 875	199, 700	199, 013	22, 476, 588	2028/ 5 /15
		US TREASURY N/B	3. 125	195, 000	198, 519	22, 420, 752	2028/11/15
合 計						267, 963, 962	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

米国国債7年-10年型部分ラダーマザーファンド (為替ヘッジなし)

運用報告書

第5期（決算日2018年5月21日）

作成対象期間（2017年5月23日～2018年5月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国の国債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目標に運用を行うことを基本とします。投資する米国国債は原則として残存期間が7年～10年程度の米国国債とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	米国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落中率			
	円		%	%	%	百万円
3期(2016年5月23日)	12,473		△4.5	98.5	—	228,932
4期(2017年5月22日)	12,584		0.9	98.6	—	302,782
5期(2018年5月21日)	12,066		△4.1	99.1	—	279,258

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

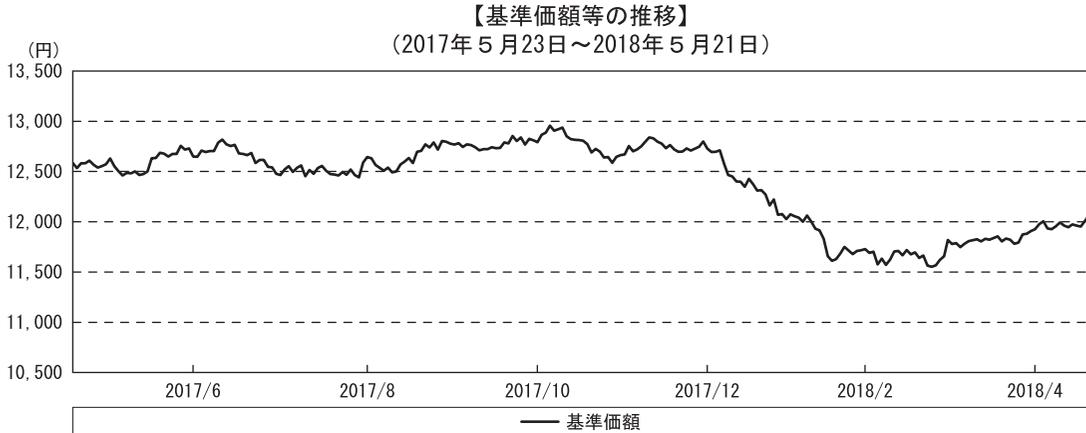
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首)	円		%	%	%	%
2017年5月22日	12,584		—	98.6	—	—
5月末	12,553		△0.2	98.9	—	—
6月末	12,648		0.5	98.6	—	—
7月末	12,477		△0.9	98.3	—	—
8月末	12,643		0.5	99.1	—	—
9月末	12,776		1.5	98.9	—	—
10月末	12,792		1.7	98.6	—	—
11月末	12,662		0.6	98.8	—	—
12月末	12,728		1.1	98.6	—	—
2018年1月末	12,026		△4.4	97.6	—	—
2月末	11,729		△6.8	98.9	—	—
3月末	11,778		△6.4	99.0	—	—
4月末	11,926		△5.2	98.8	—	—
(期末)						
2018年5月21日	12,066		△4.1	99.1	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

- (上昇)・米国国債を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- (下落)・米国国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと。
 - ・米ドルが対円で下落（円高）したことによる為替差損。

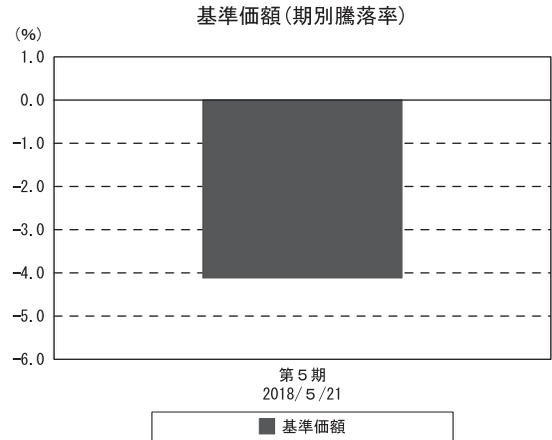
○当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象である米国国債を高位に組み入れ、残存7年から10年程度のラダー型ポートフォリオを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として残存7年～10年程度の米国国債に投資し、残存構成が概ねラダー型になるよう運用しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

主要投資対象の米国国債の組み入れを高位に保ち、ラダー型ポートフォリオを維持します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2017年5月23日～2018年5月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	1	0.010	
（その他）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、12,394円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年5月23日～2018年5月21日)

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 2,065,007	千米ドル 2,042,176

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月23日～2018年5月21日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			B/A			D/C
為替直物取引	百万円 61,305	百万円 -	% -	百万円 71,445	百万円 4,454	% 6.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年5月21日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	2,400,400	2,492,395	276,880,182	99.1	—	99.1	—	—
合 計	2,400,400	2,492,395	276,880,182	99.1	—	99.1	—	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY BOND	6.875	167,600	209,748	23,300,990	2025/8/15
		US TREASURY BOND	6.0	177,200	213,512	23,719,063	2026/2/15
		US TREASURY BOND	6.75	167,800	213,302	23,695,788	2026/8/15
		US TREASURY BOND	6.625	167,300	213,202	23,684,714	2027/2/15
		US TREASURY BOND	6.375	84,300	106,764	11,860,482	2027/8/15
		US TREASURY N/B	2.125	13,000	12,268	1,362,935	2025/5/15
		US TREASURY N/B	2.25	222,600	210,861	23,424,584	2025/11/15
		US TREASURY N/B	1.625	238,200	214,138	23,788,597	2026/5/15
		US TREASURY N/B	2.0	231,800	213,346	23,700,667	2026/11/15
		US TREASURY N/B	2.375	225,200	212,919	23,653,232	2027/5/15
		US TREASURY N/B	2.25	114,700	107,083	11,895,872	2027/8/15
		US TREASURY N/B	2.25	228,700	213,173	23,681,432	2027/11/15
		US TREASURY N/B	2.75	362,000	352,073	39,111,819	2028/2/15
合 計						276,880,182	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年5月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	276,880,182	98.8
コール・ローン等、その他	3,418,220	1.2
投資信託財産総額	280,298,402	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（280,215,430千円）の投資信託財産総額（280,298,402千円）に対する比率は100.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	281,621,623,929
コール・ローン等	1,566,363,841
国債証券(評価額)	276,880,182,246
未収入金	1,323,266,080
未収利息	1,719,654,287
前払費用	132,157,475
(B) 負債	2,363,070,150
未払金	1,332,940,000
未払解約金	1,030,130,000
未払利息	150
(C) 純資産総額(A-B)	279,258,553,779
元本	231,451,950,852
次期繰越損益金	47,806,602,927
(D) 受益権総口数	231,451,950,852口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,066円

(注) 期首元本額は240,616,288,895円、期中追加設定元本額は64,612,304,919円、期中一部解約元本額は73,776,642,962円、1口当たり純資産額は1.2066円です。

○損益の状況 (2017年5月23日～2018年5月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	11,254,767,548
受取利息	11,250,768,460
その他収益金	4,944,174
支払利息	△ 945,086
(B) 有価証券売買損益	△24,894,722,294
売買益	578,173,540
売買損	△25,472,895,834
(C) 保管費用等	△ 33,402,036
(D) 当期利益(A+B+C)	△13,673,356,782
(E) 前期繰越損益金	62,165,877,109
(F) 追加信託差損益金	15,741,773,847
(G) 解約差損益金	△16,427,691,247
(H) 計(D+E+F+G)	47,806,602,927
次期繰越損益金(H)	47,806,602,927

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村米国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	15,377,355,272
野村米国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	9,949,393,665
野村米国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA向け）	8,902,620,669
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1601（適格機関投資家販売制限付）	6,266,456,976
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1604（適格機関投資家販売制限付）	5,237,100,283
野村米国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA向け）	4,999,064,654
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1510（適格機関投資家販売制限付）	4,422,214,162
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1502（適格機関投資家販売制限付）	4,395,965,445
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1603（適格機関投資家販売制限付）	4,291,796,627
米国債7年-10年型部分ラダー投信（為替ヘッジなし）1406（適格機関投資家専用）	4,265,953,577
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1802（適格機関投資家販売制限付）	4,232,022,509
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1603（適格機関投資家販売制限付）	4,190,606,864
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1508（適格機関投資家販売制限付）	4,052,325,065
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1512（適格機関投資家販売制限付）	3,976,776,510
米国債7年-10年型部分ラダー投信（為替ヘッジコール型）1703（適格機関投資家専用）	3,910,730,979
米国債7年-10年型部分ラダー投信（為替ヘッジコール型）1702（適格機関投資家専用）	3,902,419,755
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1707（適格機関投資家専用）	3,896,458,553
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1705（適格機関投資家専用）	3,864,561,338
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1706-13（適格機関投資家専用）	3,851,102,984
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1704-27（適格機関投資家専用）	3,846,751,490
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1704-13（適格機関投資家専用）	3,846,279,953
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブックコール型II）1706-05（適格機関投資家専用）	3,836,391,502
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1707（適格機関投資家専用）	3,832,968,211
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1706-08（適格機関投資家専用）	3,832,759,182
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型II）1704-06（適格機関投資家専用）	3,828,857,768
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型II）1706-22（適格機関投資家専用）	3,827,219,608
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1705（適格機関投資家専用）	3,825,497,232
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1706-16（適格機関投資家専用）	3,814,097,814
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1703-24（適格機関投資家専用）	3,810,594,625
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1704（適格機関投資家専用）	3,803,588,771
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1803（適格機関投資家販売制限付）	3,784,581,844
米国債7年-10年型部分ラダープラス投信（ブック&コール型）1703-17（適格機関投資家専用）	3,772,861,335
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1412（適格機関投資家販売制限付）	3,552,936,229
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1504（適格機関投資家販売制限付）	3,320,168,480
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1604（適格機関投資家販売制限付）	3,230,544,497
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1405（適格機関投資家販売制限付）	3,182,655,959
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1406（適格機関投資家販売制限付）	3,102,423,508
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1506（適格機関投資家専用）	2,858,104,895
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1407（適格機関投資家販売制限付）	2,671,068,381

ファンド名	当期末 元本額
	円
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1508（適格機関投資家販売制限付）	2,625,319,891
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（ブック&コール型）1706（適格機関投資家専用）	2,496,409,214
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1602（適格機関投資家販売制限付）	2,430,307,890
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1501（適格機関投資家販売制限付）	2,410,156,881
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1609（適格機関投資家販売制限付）	2,408,077,567
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1610（適格機関投資家販売制限付）	2,338,321,617
米国債7年-10年型部分ラダー投信（為替ヘッジ&コール型）1610-07（適格機関投資家専用）	2,290,621,501
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1605（適格機関投資家販売制限付）	2,101,664,257
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1602（適格機関投資家販売制限付）	2,072,541,021
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジ&コール型）1611（適格機関投資家専用）	2,049,686,538
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1408（適格機関投資家販売制限付）	1,845,618,059
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1605（適格機関投資家販売制限付）	1,745,667,491
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1702（適格機関投資家販売制限付）	1,611,500,738
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（コール型）1606（適格機関投資家販売制限付）	1,597,779,252
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1704（適格機関投資家販売制限付）	1,578,239,700
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1608（適格機関投資家販売制限付）	1,492,767,969
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1411（適格機関投資家販売制限付）	1,452,072,130
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1606（適格機関投資家販売制限付）	1,442,510,139
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1607（適格機関投資家販売制限付）	1,437,234,712
米国債7年-10年型部分ラダープラスファンド（ブック型）1506（適格機関投資家専用）	1,411,329,757
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1703（適格機関投資家販売制限付）	1,405,873,256
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1506（適格機関投資家販売制限付）	1,393,516,588
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1705（適格機関投資家販売制限付）	1,392,057,611
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1511（適格機関投資家販売制限付）	1,320,939,098
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1611（適格機関投資家販売制限付）	1,257,259,551
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1403（適格機関投資家販売制限付）	1,126,226,906
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1505（適格機関投資家販売制限付）	1,069,728,687
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1612（適格機関投資家販売制限付）	1,049,146,390
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1409（適格機関投資家販売制限付）	1,046,934,132
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1706（適格機関投資家販売制限付）	1,001,280,804
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1512（適格機関投資家販売制限付）	976,846,364
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1509（適格機関投資家販売制限付）	849,861,939
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1701（適格機関投資家販売制限付）	849,342,145
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1507（適格機関投資家販売制限付）	829,664,181
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1503（適格機関投資家販売制限付）	564,676,514
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1312（適格機関投資家販売制限付）	432,568,319
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1310（適格機関投資家販売制限付）	181,991,316
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1410（適格機関投資家販売制限付）	160,960,674
米国債7年-10年型部分ラダーファンド（為替ヘッジなし）1510（適格機関投資家販売制限付）	139,972,882

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2018年12月6日現在)

年 月	日
2018年12月	25
2019年1月	21
2月	18
3月	－
4月	－
5月	27
6月	－
7月	4
8月	－
9月	2
10月	－
11月	11、28
12月	25

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。